

令和3年度 事務事業評価シート（1）

〔令和2年度事務事業〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	堺市シルバー人材センター運営補助				事業番号	011-080	
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現		
			有	取組の方向性	⑥高齢者の社会参加と生きがい創出の支援					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—		
			無	取組	—					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成30（2018）～32（2020）年度）						
3	事業開始年度			昭和 56 年度		点検年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 （根拠法令、条例等）			老人福祉法 高齢者等の雇用の安定等に関する法律						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		公益社団法人 堺市シルバー人材センター				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		公益社団法人 堺市シルバー人材センターにかかる経費の一部を補助することにより、当該団体の事業が円滑に実施され、高齢者の就業機会の増大と福祉の増進を図るとともに、高年齢者の能力をいかした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など		公益社団法人堺市シルバー人材センターは、自らの生きがいの充実と社会参加を希望する高齢者が会員となり、自主的に運営する営利を目的としない団体で、臨時的かつ短期的、またはその他の軽易な業務を引き受け、会員の希望と適性を配慮して会員に提供し、会員が自主的な選択により就業するものである。 高年齢者の就業機会の増大と福祉の増進を図るとともに、高年齢者の能力をいかした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とし、事業に係る諸経費及び当該事業の運営に要する経費の補助を行っている。				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）		公益社団法人 堺市シルバー人材センター				
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
登録会員数	人	目標値	6,500	6,100	6,200		6,400
		実績値	5,939	5,386			
		達成率	91%	88%			
当該指標を選定した理由		団体の策定している中長期計画による目標値から設定。					
目標値の設定根拠・算出方法		団体が作成した第4次シルバーフィールドプラン（令和2年度～6年度）による目標値を設定。					

活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
契約件数	件	目標値	20,000	18,400	18,800	
		実績値	18,029	16,817		
		達成率	90%	91%		
当該指標を選定した理由		団体の策定している中長期計画による目標値から設定。				
目標値の設定根拠・算出方法		団体が作成した第4次シルバーフィールドプラン（令和2年度～6年度）による目標値を設定。				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	堺市シルバー人材センター運営補助	事業番号	011-080
-------	------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
	事業費 (a)	53,130	50,130	50,130	50,130	47,630
13	財源内訳					
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	53,130	50,130	50,130	50,130	47,630
14	人件費 (b)	2,460	2,430	2,460	2,460	2,460
15	年間経費(c)=(a)+(b)	55,590	52,560	52,590	52,590	50,090

事業費の内訳

(単位：千円)

	項 目	年度		事業費	うち一般財源	項 目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	決算				R2	決算		
16	補助金	R3	予算	47,500	47,500		R3	予算		
		R2	決算	130	130		R2	決算		
	全国・大阪府シルバー人材センター賛助会員費	R3	予算	130	130		R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		
		R3	予算				R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		
		R3	予算				R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		
		R3	予算				R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和元年度	令和2年度
17	① 登録会員数	人	5,939	5,386
	② 上記①にかかる年間経費	千円	50,000	50,000
	③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	8,419	9,283
	備考 (算出についての説明等)	シルバー人材センターへの補助額		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	新型コロナウイルス感染症等の理由で、センター会員数を増やすことが難しく、令和元年度実績【総数5,939人（女性2,164人・男性3,775人）】と比較し、令和2年度実績は【総数5,386人（女性1,933人・男性3,453人）】であり、男女とも、会員数が減少した。また、契約件数も昨年度実績と比較し、1212件減少した。一方で、年間経費は減少しておらず、費用対効果は悪化したと言える。 シルバー人材センターとしては、令和2年4月に「第4次シルバーフィールドプラン（中期計画）」（計画期間：令和2年度～6年度）を作成し、今後5年間の事業運営方針を明確化し、数値目標を設定している。堺市としても、高齢者の就業機会の確保等、費用対効果改善に向けた取組みを実施していく。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	高齢者が増加している一方、民間企業の定年延長や働き方の多様化などにより、登録会員数の減少が続いているが、同センターは全国でもトップレベルの事業規模を保っている。また、全国各市でシルバー人材センターが設立されており、堺市シルバー人材センターにおいても、全国シルバー人材センター事業協会や大阪府シルバー人材センター協議会を通じて、情報共有をはじめ、連携を図っており、高齢者の就業を促進するとともに高齢者自身の活動的な生活能力・労働能力を生み出すことにより、豊かで積極的な高齢者の生活と社会参加による生きがいの創出に寄与した。
----	--